

今後の方針

意見交換会
意見収集



社会から求められているものは何か明確化



事務局で議論

- ①協会における事業位置づけの見直し
(収入源→広報・ブランド的役割
活動を支えるGSの輩出 へ)
- ②ベーシック、アドバンス、マスターの役割の見直し
- ③形式の変更(例えば講座形式に)も視野に入れて検討



■ 広報/PR
どのようにPRするか

協会の価値・存在意義とともにPR

上のコンセプトが固まればできることから実行

上のコンセプトを
踏まえ、これらの
検討会により
具体的検討



■ テキスト・教材見直し
何を伝えるか
どのような内容を入れ込むか

フィールドの活用・実習の併用も検討

2-3年かけて。ただし、できる改訂対策があれば実行(法律部分のみネット配信等)

自然環境の学習についてのニーズ、グリーンセイバーのターゲット検討

年代	区分け	ニーズ	必要要件
子供		<ul style="list-style-type: none"> 子どもチャンピオ的なチャレンジ目標としての資格。 植物だけでなく広く動物も含めた関心、知識。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校上級生がチャレンジできるレベル。敷居を低くする必要は無いが、合格できないのでは意味が無い。
学生 ～20代	自然環境系志望	<ul style="list-style-type: none"> 環境系の仕事を希望。そのためのガイド、体験の場。 就職する、仕事をするために必要、有利となる資格。 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動、仕事に結びついた内容。世の中の制度、仕組みの説明。 □制度上の有利点、あるいは他団体と連携した有利点。
	現代社会のニーズ志向 その他一般	<ul style="list-style-type: none"> 地域のコミュニティづくり、看護の現場、など新しい社会のニーズに里山保全活動を活かすような活動をしたい。 社会に役に立ちたいという思いから環境活動を希望。そのために正しい知識を身につけたい。 チャレンジするテーマの一つとしての資格。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域づくり、まちづくり、合意形成の技術、知識、意識。コミュニティの場としての機能。 ○幅広い、網羅的な知識(人文、歴史を含む)。 □環境についての専門的な知識を勉強できる場。
～40代	一般企業	<ul style="list-style-type: none"> 企業人としてこれから必要となる環境常識。 生物多様性にかかわる知識や活動。 里山保全活動による社会への貢献。 	<ul style="list-style-type: none"> ○企業活動との関連性の説明。幅広い、網羅的な知識。分かりやすい説明。 ○短期間の準備である程度は合格できる。 □講師とセットにした研修・試験の仕組み
	環境系企業	<ul style="list-style-type: none"> 土木、建築系企業向けの生態系を意識した専門技術(法面緑化、防災・減災、グリーンインフラなど) 仕事の中で役立つ知識、技術。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生態系を意識した、環境を意識した特定技術。 ○まちづくりの一つとしての緑地・農地の機能とその維持・保全の視点。 ○コミュニティの場としての機能。
	子育て	<ul style="list-style-type: none"> 子供に対し、自然環境についての語りかけをするための知識 子供に自然とのふれあいをさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な話題、易しい説明、 □自宅でも勉強できる仕組み。 □子供と一緒に参加でき、勉強できる自然環境体験の場。
～50代	企業人	<ul style="list-style-type: none"> 第二の人生として環境系のボランティア、仕事に就くための予備学習。 第二の人生として田舎暮らしを希望。そのための予備学習。 	<ul style="list-style-type: none"> □就業時間外に学習できる仕組み。
	管理職 経営者	<ul style="list-style-type: none"> 従業員の環境についての知識・意識を向上させる研修の場。 会社の環境への関心の高さをPRするきっかけ。 	<ul style="list-style-type: none"> □社会とのつながり・社会の中での意義を含めた視点。
60代～	環境テーマ活動派	<ul style="list-style-type: none"> 環境系のボランティア、仕事に就くためのガイド、知識学習。 より専門性の高い知識、技能への欲求。 	<ul style="list-style-type: none"> ○幅広い、網羅的な知識(人文、歴史を含む)。 ○環境系のボランティア、仕事を始められるガイド □環境についての専門的な知識を勉強できる場。
	その他一般	<ul style="list-style-type: none"> 知識欲への対応。生涯学習。 身の回りの環境整備のための知識。 仲間づくりの場、コミュニケーションの場。 	<ul style="list-style-type: none"> ○幅広くかつ興味深い話題は深く掘り下げた知識(人文、歴史を含む)。 ○グループをまとめ運営するノウハウ。